

企業経営の後継者を育成

名古屋学院大学商学部(岡田千尋学部長)では、2006年度4月から経営者および企業経営の後継者を育成するため、商学部商学科にエグゼクティブコース(以下「E.x」という)を開設しました。

この「E.x」は商学部の4年間と大学院2年間の6年間でそれぞれ専門科目を受講しながら、経営者として求められる多彩な分野の知識・技術を身につける特別コースで、最終的にM.B.A.(経営学修士)の取得をめざすものです。プログラムの主な特徴は以下のとおりです。

①学部・大学院の一貫教育でM.B.A.取得をめざす。

商学部商学科で学部学科の専門科目の履修とともに、中部財界で活躍している先輩経営者によるリレー講義「企業経営特別講義」、地元などで活躍するキーマン政治家による「政界特別講義」など実践的な講義を受講することによって、将来必要とされる経営感覚を磨く準備を行います。さらに本学大学院経営政策専攻に進学して企業経営者に必要とされる経営理論や各種手法・技法を学びM.B.A.を取得(必修)します。また、実社会で活躍する社会人院生と異業種交流を行うことにより、人脈形成することもできます。なお、学部4年からM.B.A.プログラムを履修することによって、最

商学部がエグゼクティブコースを開設

短5年(大学院1年で修了)で修了することもできます。

②ゴルフ・乗馬は必修

企業経営者として幅広い教養を高めます

企業経営者として取引上の付き合いや人脈形成でさまざまな教養的センスが求められます。「E.x」では、こうしたセンスに磨きをかけるため、多くの教養的科目を開設しています。

●ゴルフ、乗馬(必修)

●ハリコプターやセスナなどのスカイスポーツ、ヨット、クルーザーなどのマリンスポーツの免許資格を単位認定します。このほか能、茶道、陶芸など企業人としての教養を深めます。

③英語圏、中国語圏、韓国語の3地域の留学が必修

グローバル時代の経営者は国際政治・経済・文化の分野でもその見識を求められます。「E.x」では、これまで本学が培ってきた国際交流の実績を基盤に3つの語学圏への留学を必修としています。留学提携大学は、1年次韓国、2年次(英語圏)、3年次(中国語圏)の有名大学に3年間にわたって毎年8週間の留学をします。

エグゼクティブコース入試要項	
商学部商学科	
入学定員	入試日程
10名	商学部入試と同じ
入学試験	
詳細は入学センターにお問合せください 0561-42-0339	

人間健康学部開設

人間健康学科

リハビリテーション学科

2007年4月から健康な社会づくりを支え導くことのできる専門家を育てることを目的とする新学部「人間健康学部」が瀬戸キャンパスに開設されました。

キリスト教主義に基づく人間教育によりケア精神を育み、「こころの健康」「からだの健康」「社会が支える健康」からなる人間の健康の総合的な理解をめざしています。さらに心理的手法、健康づくり、社会福祉を取り巻く環境、リハビリテーションなど、幅広い分野において、人間の健康に関わる専門知識と技能を習得します。

健康な社会をつくるリーダーをめざして選べる2学科制

人間健康学科
本学科は人間心理コース、健康スポーツコース、福祉社

会コースの3コース。こころをケアする「人間心理」、からだを健康に保ち増進する「健康スポーツ」、社会福祉や地域社会によって人間の健康な生活を支援する「社会が支える健康」という側面から人間の健康を学びます。同時に、リハビリテーション学科を併設するメリットを活かし、医療福祉論、リハビリテーション概論などの科目も履修できます。

リハビリテーション学科

最先端の技能、知識を身につけ、障害の評価、機能回復、介護予防等の基礎から実践まで学びます。本専攻では、理学療法に関する高度な専門知識を有し、理学療法士として医療・保健・福祉の分野で社会貢献できる人材を育成します。

中国コミュニケーション学科誕生

中国語コース 中国アジアビジネスコース
実用中国語を学ぶ、あるいは中国ビジネスを習得する2つの選択肢から選べるコース制

2007年4月から外国語学部の中国語学科を「中国コミュニケーション学科」と名称変更し、内容をさらに充実させリニューアルします。

2008年北京オリンピック、2010年上海万博を控える中国は今世界から最も注目を集める国です。華やかな国際イベント開催を支えるのは好況な経済成長で、外資導入と輸出拡大で大幅な貿易黒字を記録し、アジア経済の中心となつています。中国語を使用する人口は世界の4分の1を占め、今や英語に次ぐ世界共通語、アジアを舞台に活躍するためにはならない語学です。しかし、単に中国語を学ぶだけでは国際人として十分とは言えません。

そこで語学を前提に政治・経済・国際関係など、中国と上手に付き合うために総合的な視点で捉えようとする気運が高まってきました。高度で幅のあるコミュニケーション能力を身につけ、現在の中国を総合的に理解し、アジア全体を視野に活躍できる人材育成が、早急に求められています。

大学院が経営政策専攻、中国語学専攻をリニューアル

経営政策専攻 ソリニーションコースを開設

従来、勤務されている社会人を対象とした「M.B.A.コース」をより実態に則したカリキュラム「ソリニーションコース」に変更します。新しいコンセプトは「産学連携による名古屋経済の発展と中堅企業・地域産業のソリニーションアドバイザーとしての役割を担う社会人を養成する」。

入学者は各職場の状況に応じて、アグリビジネス、マーケティング、財務体質改善、生産性向上、経営複合の課題研究から選択し、最短1年で修了可能なプログラムを受講し、地域社会に貢献できる次世代リーダーを養成します。

高等専門教育コース(論文コース)に名称変更
学部出身者・税理士をめざす方などが対象だった論文コースも、選択分野を明確にしたカリキュラムに変更

名古屋学院大学は、この世界的な胎動に対応すべく、名古屋キャンパスへの外国語学部移転を機に、「中国コミュニケーション学科」を開設する訳です。ここでの「コミュニケーション」という言葉は、一般にイメージされる「言葉による伝達」のみを指すのではなく、言葉のみならず、人、国、および文化面での交流、物資の流れ(物流)を含む幅広い意味を持ち、また同時に「中国」を積極的に学べる内容へと方向性をシフトを示しています。

この背景には中国語のみでなく、中国の経済発展に着目する学生が増えてきたことがあります。中国と相互理解を深めるためには、中国の広範な知識を土台に、中国の人たちと付き合っていく能力が必要です。そのため、語学だけでなくビジネス、社会、経済、文化など中国を総合的に学べる内容へと方向性をシフトしました。

税理士をめざす社会人にとって最適なプログラム編成となっています。

外国語学専攻

2007年度より中国語学専攻は、設置10周年、学部においては「中国コミュニケーション学科」への移行にともない、カリキュラムを大幅改定します。より実践的な科目編成となり、実社会において十分通用する語学力、中国理解力を養うことに主眼をおきます。

卒業生で再び中国語を勉強したい方にも、平日夜間の講義が中心ですので、十分対応できるプログラムとなつています。

お問い合わせは
大学院事務室
(平日:午前9時15分~午後5時)
TEL 0561-42-0346
FAX 0561-42-0324
URL <http://www.ngu.jp/graduate>
e-mail ngugs@ngu.ac.jp